

実績報告書

1 事業者名	わぐわぐWorks
2 事業名	小千谷寺子屋プロジェクト
3 実施期間	2018年4月1日～2019年3月11日 プログラム実施日 夏編 2018年8月21日～8月23日 冬編 2019年1月12日～1月14日 事業反省会 2019年3月11日
4 実施場所等	【夏編】 おぢやクラインガルデンふれあいの里 【冬編】 小千谷市船岡町周辺 【夏冬共通・宿泊施設】 市民の家・小千谷信濃川水力発電館「おぢゃーる」
5 対象年齢・参加人数	夏編 小学5・6年生 合計27名 冬編 小学5・6年生 合計15名
6 参加費	有料（5,000円）
7 内容	<p>「自分で考えて生きる力を身に付ける」をゴールに、季節に合わせた小千谷ならではのアクティビティを用意した。4～5名のグループをつくり、大人1名がリーダーとしてつき、安全を期した。アクティビティの始まる前や実施中も、子ども達に意識的に(1)どうなると思う？(結果・危険の想像)(2)どうすればよい？(危険への準備)(3)どうだった？(振り返り・次への学び)という問いかけを行い、自分で考えて生きる思考の基礎の定着を図った</p> <p>【夏編】 参加者には、頑丈な手袋やライトなど、7大道具を支給し、行われるアクティビティに対して必要な準備を、自分達で考えさせて、実施させた。</p> <p>■1日目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・超サバイバル体験…「夜ご飯を食べるところを一からつくる」をゴールに、次の日に行う火起こしの練習や、自分たちがご飯を食べるテーブルや椅子を、森に入って材料を集めたり、ダンボールを切ったりつなげたりしながら作成した ・寺子屋タイム…夏休みの宿題や自由研究に、参加者同士や大人達と協力しながら取り組んだ ・ナイトハイク…真っ暗な山へ登り、星を見るプログラム。ここでも「どんな準備が必要？」という声かけの元、参加者が自分達で必要な準備をして、向かった

■ 2日目

・役割分担決め～収穫・調理開始…献立は「野菜たっぷりのチキンカレーとマスの塩焼き」。野菜、魚、鶏のうち、自分が何を担当するかを決め、チームに分かれた。作戦会議ののち、昼食を食べてクラインガルデンへ移動。野菜は、畑でナスやじゃがいもを収穫し、皮を向いたり、包丁で切ったりした。魚は、包丁で腹を切って内臓を取り出し、よく洗った後に串を通して、塩をまぶした。その後、1日目に学んだ火起こしの技術を使って、遠火で焼いた。鶏は、専門家の協力を得て、首を切って屠殺するところから、解体までを自分たちで行った。最後は食材を合わせて無事に完成。心からの「いただきます」をして、みんなで食した

・花火…川辺へ移動。自分達で実施から片付けまでの役割分担をさせて、実施した

■ 3日目

・振り返りワークショップ…「3日間で、自分で考えて生きる力が身に付いたと感じた瞬間は?」「この体験を今後の生活にどう活かしたい?」という問いに対し、個々人で想いや考えをシートに記入した。記入後は、グループリーダーに見せに行き、問答をしながら、更に考えを引き出した

【冬編】

冬は雪の影響で、外での活動が制限されるために7つ道具が効果的に使用できないと判断し、配布せずに行った。児童たちは少しの時間さえあれば雪で遊ぶために外へ出ていた。

■ 1日目

・船岡町の雪掘り(雪かき)体験…2日目に実施するさいの神の会場を綺麗にするため、シャベル等を用いて除雪作業を行った。終了後は、地元の方から甘酒を振舞っていただいたり、さいの神の作り方のレクチャーを受けたりした

・夕食の検討・買い物・調理…チームごとに定められた予算の中でどんな夕食を作るかを検討し、スーパーで買い物をし、自分たちで調理を行った。共通テーマは「鍋」。わぐわぐメンバーによって試食が行われ、優勝チームには豪華デザートをプレゼントした

■ 2日目

・船岡町でさいの神・かまくらづくり…1日目に綺麗にした会場にワラ運びこみ、木の柱を中心に据えて塔を立てた。最後は、自分たちが持ってきた「願いを込めて燃やしたいもの」で塔を飾り付けて点火。無事に燃やすことができた

・夕食の検討・買い物・調理…チームごとに定められた予算の中でど

	<p>んな夕食を作るかを検討し、スーパーで買い物を行い、自分たちで調理を行った。初日での経験を踏まえて、今回のテーマは「自由」。各チーム、餃子や麻婆豆腐、唐揚げなど、より調理技術が必要とされる料理にチャレンジしていた。わぐわぐメンバーによって試食が行われ、優勝チームには豪華デザートをプレゼントした</p> <p>■ 3日目</p> <p>・振り返りワークショップ…「3日間で、自分で考えて生きる力が身に付いたと感じた瞬間は?」「この体験を今後の生活にどう活かしたい?」という問いに対し、個々人で想いや考えをシートに記入した。記入後は、グループリーダーに見せに行き、問答をしながら、更に考えを引き出した。また、同じチームのメンバー全員にラブレターを書き、交換し合った</p>
8 効果	<p>■主体性の向上</p> <p>どのプログラムを実施する際も、「ゴールやルールを共有し、あとは子ども達に自分で考えさせる」ということを徹底し、グループリーダーにも、「こうしなさい」ではなく「何をしたい?なぜしたい?何に気をつける?」など、指示をする際の声のかけ方に細心の注意を払った。また、特に冬に関しては、せっかくの雪国体験なので、事前準備もできるだけ自分でやるように声かけをした結果、しおりにびっしりと自分で考えた様子が残っている子どもが多く見られた</p> <p>■自己肯定感の向上</p> <p>短い期間の中でたくさんのコンテンツを用意した。また、予想・準備・実施・振り返りがきちんと行えたことに対して、「ほめること」を大人達で徹底した。</p> <p>→終了後の感想で、ほとんどの参加者が「○○ができるようになった」と、しっかりと自分のことを評価できていた。一部、「できなかった」という子どももいたが、その理由も自分でしっかりと自覚しており、自身を客観的に見つめる視点を養えたと感じた</p> <p>■初対面メンバー達との活発な意見交換</p> <p>自分たちでチームのルールを決めて、それぞれのコンテンツに主体的に取り組むことができた。その際、初対面だからと言って遠慮することなく、伝え合い、聴き合うことができていた。その結果、夏・冬共に、与えられたミッションは、全チームがクリアすることができた</p>

※ 必要に応じて、枠を広げてください。

収 支 決 算 書

I 収入の部

項目	内容	金額
1 助成金等	次世代育成基金活用事業助成金	2,370,000
2 その他収入	夏編 参加費(@5000円×27) 冬編 参加費(@5000円×15) 団体負担金	135,000 75,000 2,261
収入合計		2,582,261

II 支出の部

項目	内容	金額		
		参加者(子ども)	その他	項目合計
① 助成対象経費				
(1) 旅費	① 宿泊費			
	-1 プロジェクト宿泊費			
	夏編	196,010		196,010
	冬編	88,570		88,570
	② 交通費			
	-1 事前打ち合わせ交通費(内訳別紙)		256,634	256,634
	-2 プロジェクトバス代(旅行保険代含)			
	夏編	488,660		488,660
	冬編	358,120		358,120
	③ 食費			
	-1 お弁当代			
	夏1日目昼食 @600円×子ども27名・スタッフ9名+税	17,496	5,832	23,328
	1日目夕食 @700円×子ども27名・スタッフ9名+税	20,412	6,804	27,216
	2日目朝食 @700円×子ども27名・スタッフ9名+税	20,412	6,804	27,216
	2日目昼食 @600円×子ども27名・スタッフ10名+税	17,496	6,480	23,976
	3日目朝食 @700円×子ども27名・スタッフ9名+税	20,412	6,804	27,216
	冬2日目朝食 @700円×子ども15・スタッフ8名+税	11,340	6,048	17,388
	2日目昼食 @240円×子ども15・スタッフ9名+税	3,888	2,332	6,220
	3日目朝食 @700円×子ども15・スタッフ8名+税	11,340	6,048	17,388
	3日目昼食 @700円×子ども15名・スタッフ8名+税	11,340	6,048	17,388
	-2 夏2日目昼食代(収穫体験講師料等含む)	11,250	3,750	15,000
	-3 夏3日目冬・1日目昼食代			
	@1032円×子ども27名・スタッフ10名(税込)	27,876	10,324	38,200
	@921円×子ども15名・スタッフ9名(税込)	13,813	8,287	22,100
(2) 謝礼	1 当日運営に対する謝礼			

	当日運営に対する謝礼(@5000×3日間×8人(団体スタッフ3, 外部スタッフ5)、夏)		120,000	120,000
	当日運営に対する謝礼(@5000×3日間×8人(団体スタッフ3, 外部スタッフ5)、冬)		120,000	120,000
	2 事前打ち合わせに対する謝礼			
	事前打ち合わせに対する謝礼(@3000×5回×5人、@3000×1回×3人、@3000×2回×1人、夏)		90,000	90,000
	事前打ち合わせに対する謝礼(@3000×5回×4人、@3000×1回×4人、@3000×2回×1人、冬)		78,000	78,000
	3 講師謝礼(東京シャモ組会長・浅野良仁さん、交通費、材料費含む)		40,000	40,000
(3) 印刷費	1 会議資料印刷		3,782	3,782
	2 チラシ・しおりデザイン費(夏)		50,000	50,000
	チラシ・しおりデザイン費(冬)		50,000	50,000
	3 チラシ印刷代・夏		36,650	36,650
	チラシ印刷代・冬		27,602	27,602
	4 しおり印刷・夏	6,127	2,043	8,170
	しおり印刷・冬	3,789	2,021	5,810
(4) 物品購入費	1 サバイバル体験用消耗品	55,987		55,987
	2 配布用7つ道具購入費	160,743		160,743
	3 自炊料理選手権材料購入費	29,900		29,900
	4 本当のいただきます体験材料費	19,560		19,560
	5 キックオフミーティング用消耗品・飲み物等	6,936		6,936
	6 その他事務用品	2,797		2,797
(5) 役務費	1 はがき封筒代		2,376	2,376
	2 切手代・郵送代		11,818	11,818
(6) 使用料及び賃借料	1 キックオフミーティング夏	6,600		6,600
	2 キックオフミーティング冬	4,900		4,900
(7) その他				0
② 助成対象外経費(その他の経費)				
				0
支出合計(総事業経費①+②)		1,615,774	966,487	2,582,261